

大会名称: 高松宮記念杯 第49回全日本実業団バスケットボール選手権大会
0

開催場所: スカイホール豊田 メインアリーナ Bコート

試合区分: No. 17 女子 決勝

期 日: 2017(H29)年2月14日(火)

主審: 北沢 あや子

開始時間: 11:40

副審: 守谷 圭介 : 尾形 美樹

秋田銀行		○		23 - 13 19 - 15 18 - 10 27 - 29 - - -		●		紀陽銀行							
(東北2)		87				67		(近畿1)							
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		成田 麻沙美	26	6	4	0	0	0		神山 幸乃	2	0	1	0	1
5	*	矢上 若菜	9	1	2	2	3	1		木工 理恵	-	-	-	-	-
6		鈴木 友佳子	-	-	-	-	-	2		米田 真依	0	0	0	0	2
7	*	小松 恵	2	0	1	0	1	3	*	野田 桃香	11	1	4	0	0
8		阿部 優美香	4	1	0	1	1	4	*	唐津 亜耶	18	2	5	2	5
9		橋田 幸華	0	0	0	0	0	7		青山 詠美	6	0	3	0	1
10		荻原 由佳	0	0	0	0	0	9	*	西田 花奈	12	0	5	2	4
11	*	加藤 千夏	14	0	7	0	1	10		浦本 美希	-	-	-	-	-
12		加藤 三津子	0	0	0	0	1	11	*	後藤 美紀	9	1	3	0	0
13	*	伊藤 美和子	27	0	8	11	1	12	*	広倉 綾乃	3	1	0	0	1
14	*	星 希望	5	1	1	0	2	16		登倉 美幸	6	2	0	0	3
15		浅利 愛	0	0	0	0	0								
16		柴田 知恵	0	0	0	0	1								
コーチ		小笠原 真人 / TEAM						コーチ		伊藤 篤司 / TEAM					
		合計	87	9	23	14	11			合計	67	7	21	4	17

S: スターター

PTS: ポイント

3P: 3ポイントシュート

2P: 2ポイントシュート

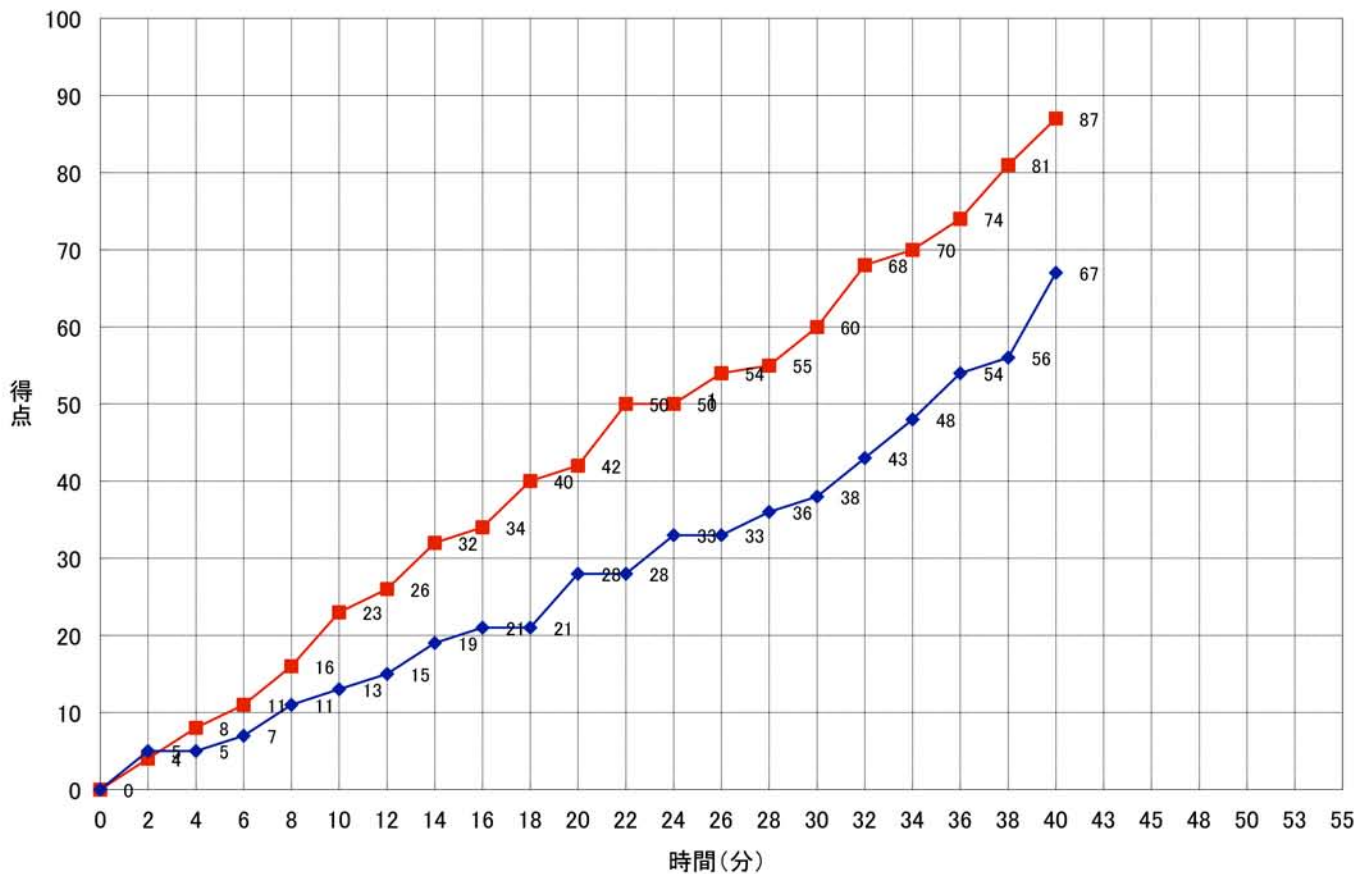
FT: フリースロー

F: ファール

得点経過

■ 秋田銀行

◆ 紀陽銀行



ゲームレポート

1P: 秋田銀行ボールより試合開始。そのまま#5矢上がシュートを決めるが、すかさず紀陽銀行#11後藤が決め返す。両チーム、インサイドとアウトサイドとボールを動かし使い様子を伺う時間が続く。しかし、秋田銀行#4成田の3ポイントにより秋田銀行がリードを広げる。紀陽銀行も#11加藤のアシストから#3野田がシュートを決めるも、23-13で秋田銀行リードのまま1P終了。

2P: 紀陽銀行ボールより開始。紀陽銀行#3野田のジャンプシュートで果敢にゴールを狙い点差を縮める。しかし、秋田銀行は#14星と#4成田の連続3ポイントで流れつかむ。紀陽銀行も負けじとスティールを狙い食らいつく。両チーム攻防を続けるも、流れをつかんだまま42-28で秋田銀行リードのまま前半を折り返す。

3P: 紀陽銀行ボールで開始、3ポイントで点差を縮めようとするが惜しくもゴールに嫌われる。秋田銀行は#14星の連続アシストでリードを広げる。紀陽銀行は苦しい時間帯が続く中、ディフェンスで粘りをみせ秋田銀行のミスを誘う。しかし、秋田銀行#4成田の3Pは外れることなく、60-38で秋田銀行が前半のリードを保ったまま3P終了。

4P: 秋田銀行ボールで開始、#14星のドライブインでそのまま先制。紀陽銀行#9西田のインサイドプレーと#16登倉の3ポイントと連続で得点を決められたところで、秋田銀行がすかさずタイムアウトを取る。紀陽銀行はオールコートマンツーステールを狙い得点を重ねる。終盤に紀陽銀行のシュートが入りだし点差が縮まるも、コンスタントに得点を重ねた秋田銀行が87-67で勝利を治める。

大会名称: 高松宮記念杯 第49回全日本実業団バスケットボール選手権大会

開催場所: スカイホール豊田 メインアリーナ Bコート

試合区分: No. 82 男子 決勝

期 日: 2017(H29)年2月14日(火)

主審: 針生 淳男

開始時間: 13:30

副審: 青木 俊博 : 早崎 康祐

No.		S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F			No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	
新生紙パルプ商事 (関東5)				○		81		25 - 18 11 - 12 16 - 12 29 - 20 - - -		●		日本無線 (関東3)		62					
0	*		流田 和輝	5	0	2	1	1	1	*		福田 大佑	28	3	8	3	1		
3	*		立花 大介	8	1	2	1	1	2	*		福田 侑介	5	1	1	0	2		
4			高崎 陽平	-	-	-	-	-	3			藤井 祐	-	-	-	-	-		
5			近森 洋介	0	0	0	0	0	5			山岸 玲太	0	0	0	0	1		
6			高田 歳也	7	1	2	0	1	6	*		鈴木 伸之	2	0	1	0	2		
8	*		出羽 峻一	16	1	6	1	1	7			松林 弘祐	0	0	0	0	0		
14			有田 一哉	0	0	0	0	0	9	*		小林 純也	8	0	4	0	1		
16	*		沼田 凌	37	0	12	13	3	11			会川 剛史	2	0	1	0	0		
27			宇田川 一馬	4	0	2	0	3	15			近藤 大	11	2	1	3	2		
33			遠藤 純二郎	0	0	0	0	0	18			深江 龍翼	0	0	0	0	1		
55			大熊 俊喜	-	-	-	-	-	19			三原 大樹	3	0	1	1	1		
61	*		坂口 貫	4	0	2	0	3	24			菅原 康平	-	-	-	-	-		
									27			有田 拓矢	-	-	-	-	-		
									31	*		那谷 一樹	1	0	0	1	4		
									34			樋渡 大樹	0	0	0	0	1		
									58			鎌田 晃輔	2	0	1	0	0		
コーチ 奥 利孝 / TEAM								コーチ 林田 亮 / TEAM											
合計				81	3	28	16	13	合計				62	6	18	8	16		

S: スターター

PTS: ポイント

3P: 3ポイントシュート

2P: 2ポイントシュート

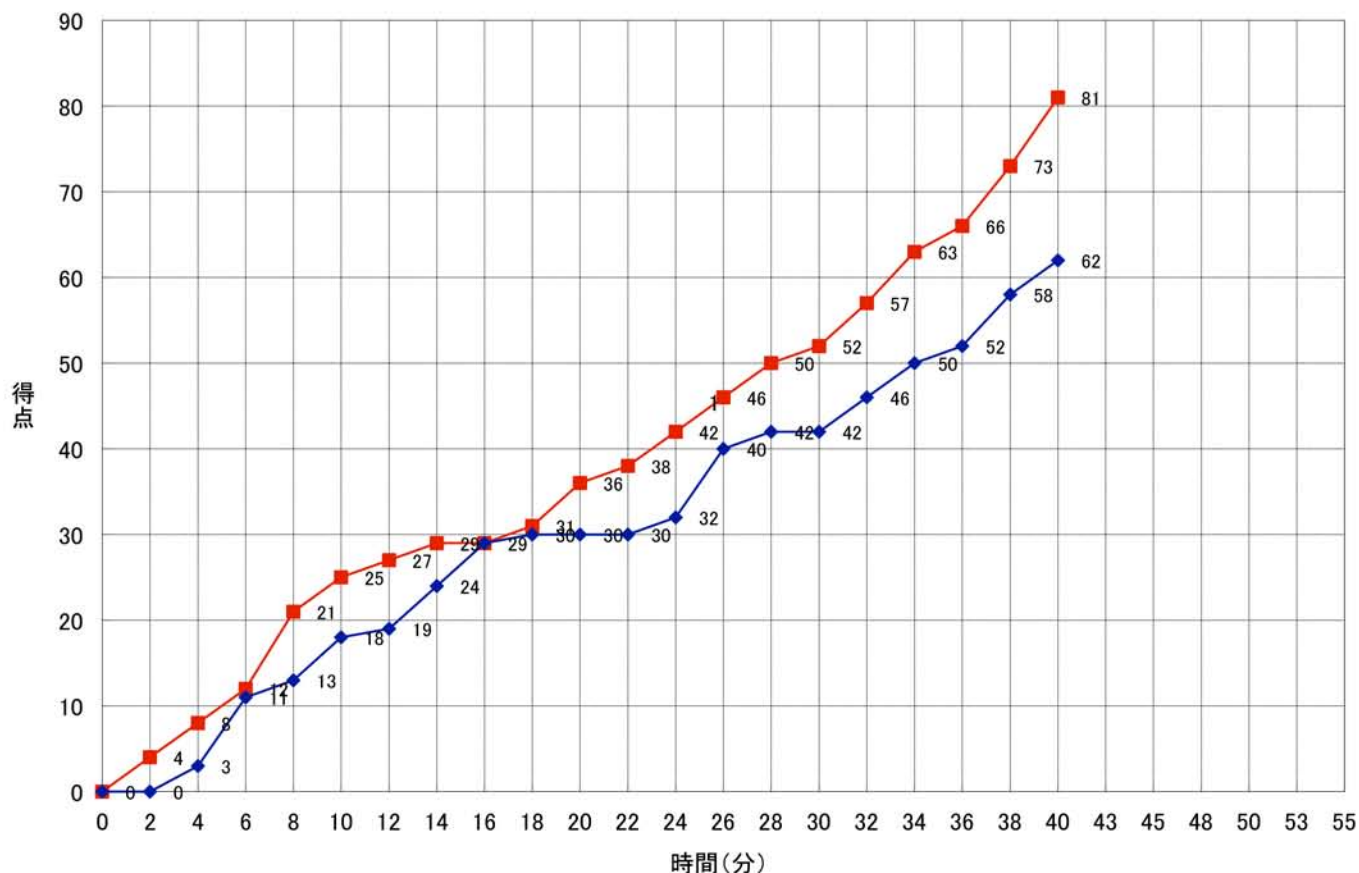
FT: フリースロー

F: ファール

得点経過

■ 日本無線

◆ 新生紙パルプ商事



ゲームレポート

1P:

開始後ボールをコントロールしたのは日本無線だが得点に結びつかない。新生紙パルプは#16沼田のフリースローで先制する。新生紙パルプの堅いディフェンスに日本無線は残り8分まで無得点。一方新生紙パルプはファストブレイクが決まるなど得点を重ねてゆく。攻めあぐむ日本無線は#1福田の3ポイントが決まると徐々に得点し残り4分20秒には11-12と1点差に詰め寄る。そのまま波に乗りたいたい日本無線だが新生紙パルプのディフェンスの前に18-25と7点差で1Pを終える。

2P:

先制したのは新生紙パルプ。点差を詰められない日本無線だが、残り6:30に#15近藤の3ポイントが決まるとリズムに乗ったオフェンスを展開。一方新生紙パルプはゴールに嫌われ、さらにフリースローを与えてしまう。日本無線は残り5分すぎに#15近藤の3ポイントで29-29の同点に追いつく。日本無線はディフェンスリバウンドを支配するようになるが、返しオフェンスでなかなか得点に結びつけることができない。新生紙パルプは残り13秒に#8出羽のバスケットカウントが決まり、36-30と新生紙パルプがリードを保ち前半を終える。

3P:

日本無線は開始のオフェンスで得点できず、逆に新生紙パルプは#16沼田の連続得点で差を広げる。残り6分を切った時点で新生紙パルプ#16沼田のブロックショットからの#3立花のファストブレイクが決まり44-32と二桁の点差となる。しかし日本無線も#2福田の3ポイントなどで粘りを見せ、6点差まで差を縮めるが新生紙パルプの得点が上回り、52-42で3P終了。

4P:

先制したのは新生紙パルプ。残り8分すぎに新生紙パルプ#6高田が3ポイントを沈め、57-44となり日本無線はすかさずタイムアウトで立て直しを図る。何とか差を詰めたい日本無線だが、新生紙パルプは落ち着いたパス回しからの得点を重ね、徐々に差を広げてゆく。この日37得点を挙げた、#16沼田の活躍も光り、新生紙パルプが勝利を飾った。